

2024年9月2日

<企業メセナの役割>
石水博物館における洛東遺芳館所蔵名品展
「京商人の美意識」協賛について

株式会社百五銀行（頭取 杉浦 雅和）は、企業メセナ活動の一環として、9月14日（土）～11月17日（日）の期間、石水博物館で開催される洛東遺芳館所蔵名品展「京商人の美意識」に協賛いたします。

本展覧会への協賛を通じ、当行はこれからも歴史・伝統に根差し、活力あふれる豊かな社会を創造する企業メセナ活動に積極的に貢献してまいります。

記

1 洛東遺芳館所蔵名品展「京商人の美意識」の実施概要

事業名	洛東遺芳館所蔵名品展「京商人の美意識」
場 所	公益財団法人石水博物館（津市垂水 3032 番地 18） https://sekisui-museum.or.jp/
主 催	公益財団法人石水博物館
協 賛	株式会社百五銀行
主 内 容	・ 円山応挙筆「虎図」 伊勢商人が好んだ 18 世紀の京都を代表する絵師・応挙の名品 ・ 宋紫石筆 「猛虎図」 18 世紀、江戸画壇に多大な影響を与えた宋紫石の唯一の大作 その他、円山・四条派の優れた絵画をはじめ、優美な漆工芸の婚礼調度などを多数展示。

2 本展覧会を当行が協賛する意義

(1) 洛東遺芳館所蔵名品展の意義

- 江戸時代の京都を代表する豪商・柏原家に伝来した、大変貴重な文化財であり、同家が注文して制作された絵画や、他の京商人から同家にもたらされた婚礼調度は、美麗を極めるものです。
- これらの優れた作品群が、まとまって他館で公開されることはありませんでした。そのようななか、当行、川喜田家の所縁から日本美術史上画期的な展覧会が石水博物館で開催されることになりました。

(2) 洛東遺芳館と柏原家

- 洛東遺芳館は京都府京都市東山区五条に所在し、京商人・柏原家の伝世資料を保管・展示しています。
- 柏原家は木綿を主力としつつ、今日まで盛業中の漆器・紙を商いとしています。当主は歴代「孫左衛門」の名を襲名しており、北三井家・那波家など京都の名だたる豪商と縁戚関係にありました。

(3) 柏原家・川喜田家および当行との関係

- 元治元年（1864）、川喜田家 14 代当主の弟が柏原家の養子に迎えられ、9 代目孫左衛門を襲名。
- 10 代目柏原孫左衛門（1897～1984）は大正 7 年（1918）に当行取締役に就任しています。川喜田半泥子（当行第 6 代頭取）の日記には、縁戚・取締役である 10 代目孫左衛門との親密な交流が記録されています。

【展示作品のイメージ】



円山応挙 筆 「虎図」



宋紫石 筆 「猛虎図」

【石水博物館交通案内】

交通案内

【交通アクセス】

- JR・近鉄津駅東口より三重交通バス(久居駅方面行)にて約15分、「青谷口」下車徒歩約8分
- 近鉄久居駅西口より三重交通バス(津駅方面行)にて約10分、「青谷口」下車徒歩約8分
- JR阿漕駅より徒歩約12分
- お車をご利用の方

【津市街から】国道23号線「大倉」交差点を県道776号線(久居方面)へ。
 JRの踏切を越え、約200m先岩田池手前の細い道(角に看板あり)を左折、
 約300m先左側。(駐車場15台)